

町並み調査から

名古屋市立大学 芸術工学部 教授 溝口 正人

2カ年にわたって実施される町並み調査は6月の絞りまつりの調査に始まり、夏の町家実測調査、10月の秋の天満社秋季大祭の調査までを終えました。今後は、地区内にどのような建物が建っているかといった建物現況調査、街道沿いの景観調査などが続きます。調査班として今までの皆様のご協力に感謝するとともに、引き続きのご理解とご協力をお願いする次第です。

実測調査では、調査した建物が「思いの外」健康であることに驚きました。普段調査する建物の多くは、もうギリギリのところできながらえているものが多いのですが、有松では建物がきちんと手入れされ使い続けられてきたことがわかります。

住民の方から、なぜ祭礼を調査するのかと問いかけられました。町並み保存は、現代の生活と歴史的な建物とが折り合いを付けながら人々が住み続けるという、まちづくりであるといえます。そして町並み保存には、地域の共同体の存在は欠かせないものでもあります。祭のあるまちは、共同体が生きているまちであり、祭礼は共同体と町並みの関係が目に見えるカタチとなる機会です。提灯で飾られた山車が昔ながらの東海道を巡行する様子から、町並みの生き様を感じることができるのです。



町並み調査でのひとコマ

歴史まちづくりコラム ～有松まつりの歴史～

有松まつりと言えば「山車」ですが、現存する山車が曳かれるようになったのは明治時代以降です。それ以前の祭りはどのように行われていたのでしょうか。

高力猿猴庵（1756～1831）の『尾張年中行事絵抄』には、笠鉾、旗、人が担いで移動する屋台などが天満社の参道を登っている様子が描かれています。また、東町や西町に残る祭礼道具を入れた古い木箱や、中町の『永代祭禮控』には「文政」「天保」といった江戸時代後期の元号とともに、「祭禮車」「御祭禮車」などの記録が見られ、この頃には何らかの車が曳き出されていたことが分かっています。

有松では古くから華やかな祭りが行われていたようです。



『尾張年中行事絵抄』より有松天神祭

~~~~~

～歴まち室からのお知らせ～ 詳細は歴まち室ホームページをご覧ください(名古屋市ホームページ内で「歴史まちづくり」を検索)

◇「街道でつながる歴史まちづくり」パネル展&講演会を、金山の名古屋都市センターで開催します。

パネル展・・・有松のほか、名古屋、熱田、桑名、犬山、足助に関するパネルを展示【10/23(火)～11/11(日)】

講演会・・・有松の町並み調査を行っている岩田敏也先生ほかの講演【10/28(日)14～16時、歴まち室に要申込】

◇歴史ある東海道沿いの町家のお座敷で、伝統を受け継ぐ手仕事を体験してみませんか？

旧山田薬局において、伝統を受け継ぐ手仕事の講座(組紐・金継ぎ・書道・木工)を開催します。現在、参加者募集中ですので、ご興味のある方は歴まち室までお問い合わせください。【11/17(土)10～12時、14～16時の2回】

有松の歴史をいかしたまちづくりへのご意見やご質問は、歴史まちづくり推進室にお寄せください

名古屋市 住宅都市局 歴史まちづくり推進室 担当：坂崎、栗並

TEL：052-972-2782 FAX：052-972-4485 E-mail：a2782@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp



準備号 No.2  
H24.10

発行：名古屋市住宅都市局歴史まちづくり推進室  
TEL：052-972-2782

## 「町家の耐震について考えよう！」を開催しました（8月25日 有松コミセン）

東日本大震災後、有松町並み保存地区における町家の耐震に関するご相談・お問い合わせが増えています。

そこで、名古屋工業大学の井戸田秀樹教授を講師にお招きし、町家の耐震に関する説明会を開催しました。

説明会では、有松の町家の耐震改修の事例紹介や、市の助成制度の紹介もあわせて行いました。

⇒概要を次頁にまとめましたので、ご覧ください。



## 東海道沿いの町家の調査を実施しています

有松の町並みの価値を明らかにするため、名市大・名工大・愛工大の先生方と学生さんにご協力いただき、町家の実測調査を実施しています。（調査期間：平成24～25年度の2カ年）

7月～8月にかけての集中調査では、多くの町家の所有者やお住まいの方にご了解を頂き、計28戸の建物を調査することができました。調査へのご協力ありがとうございました。集中調査では、建物が建てられた年代を記した棟札の発見が相次ぎ、屋根裏の構造から時代別の建物の特徴が確認されるなど、有松の町並みのルーツが徐々に解明されつつあります。

今回、日程の都合で調査できなかった町家等については今後、時期を改めて調査を実施する予定ですので、引き続き調査へのご協力をよろしくお願いいたします。



実測調査の様子



有松まつりと町並みの関係の調査も実施しました。ご協力ありがとうございました。

~~~~~

今後の予定

- ・引き続き町並みや建物の調査をすすめます。来年3月頃に中間報告会を開催する予定です。
- ・調査と並行して、有松の歴史まちづくりや、町並み保存・伝建地区制度に関する説明会などを随時開催したいと考えています。



「町家の耐震について考えよう！」のあらまし

8月25日に、町並み保存地区における町家の耐震に関する説明会を有松コミセンにて開催しました。今回の紙面では、その概要を中心に報告します。

来るべき大地震に備えを！町家に適した耐震診断や補強方法があります

この地域は、大地震が発生する確率が非常に高く、地震発生後の避難生活もイメージしながら大地震に備えておく必要があります。住宅の耐震補強や水・食料の備蓄などの備えが大切です。

近年、町家など伝統工法の建物に適した耐震の研究が進んでいます。大地震の危険性や伝統工法の建物の特性を正しく理解した上で、どこまでお金をかけて補強するのか、各家庭で考えていただくことが大切です。

まず耐震診断を受けましょう。伝統工法の建物の場合は「精密診断」と呼ばれる、簡易診断よりも詳しい調査方法による診断を行うことが有効です。



名古屋工業大学
井戸田 秀樹 教授

土壁の家でも、土台が石でも、耐震補強できます！～有松 石川邸の事例～

歴史ある建物に関する専門家(なごや歴まちびと)として名古屋市に登録しています。名古屋市歴まち室を通じて、東海道沿いの築100年以上の町家(石川邸)の耐震改修の相談を受けました。

屋根の葺き替え(軽量化)、耐震壁の設置、基礎の部分補強を実施し、大地震が来ても倒壊しない程度まで建物を補強することができました。

何より事前の調査が重要です。柱や梁の太さや傾きを1つ1つ丁寧に調べることで、伝統工法の建物に適した耐震補強が可能となります。



かけひ
寛建築設計
寛 清澄 建築士



修理前<<before>>



修理後<<after>>

耐震補強工事にあわせて、
外観の復元工事も実施。
建物と町並みのイメージが
一新しました！

まずは歴まち室にご相談を！～名古屋市歴まち室より～

町家など伝統工法の建物については、少々手間と費用がかかりますが「精密診断」を用いることによって、伝統的な建物の良さをいかしながら、大地震が来ても倒壊しない強さまで耐震補強を行うことが可能となります。ただし、精密診断を行うには、構造計算に詳しい専門家の協力が不可欠です。

歴まち室では、歴史ある建物に関する専門家(なごや歴まちびと)の無料相談制度を実施しています。また、東海道沿いの町家については、精密診断や耐震補強工事に対する助成制度(町並み保存補助金)もあります。詳しくは歴まち室までお問い合わせください。



ひとこと

東海道沿いの築100年以上の町家の耐震リフォームが完了しました。
住まい手の石川さんと設計を担当された寛さんにお話をうかがいました。

ーリフォームを終えて、住みごこちはいかがです？

石川 修理する前の家は建具の開け閉めが大変で、満足する部屋が一つもありませんでしたが、修理後は建具の開け閉めも楽になり、とても快適です。また、大雨や地震などの災害の心配もなくなり、安心できるようになりました。



石川 勝枝さん(東町在住)
寛 清澄さん(建築士)

ー建物の外観もみちがえるように綺麗になりましたね。

石川 昔の建物をそのまま修復しただけなのに、こんなに綺麗になって私も驚いています。先日、家に遊びに来た孫も「我が家が生まれ変わったみたい」とびっくりしていました。まちの皆さんからも「外観が良くなったね」との声を頂き、嬉しいです。



土間と居室との段差を緩和する板敷きを玄関に新たに設置しました。

ー今回の工事で苦労したことは？

寛 石川さんが今までと変わらない使い勝手で生活ができるように、間取りをなるべく変えずに耐震壁を配置するなど工夫しました。また、歴史ある家なので、家の荷物も多く、荷物の移動や整理には大変苦労しました。

ー町家の耐震改修を行う際のポイントは？

寛 専門家(構造計算)・大工さん・行政(歴まち室)の方々と連携することで、歴史ある町家の耐震改修を上手く進めることができました。

また、目に見えない部分が傷んでいた場合に追加工事が必要となることもあるので、あらかじめ予算に余裕をもっておくことも大切です。

ー有松のまちや町並みについての想いをひとこと。

石川 有松に嫁いで来たときに、立派な格子の家が連続する町並みを目にしてとても驚いたことを記憶しています。歴史ある町並みは有松の魅力だと思います。私のような古い家でも少し修復するだけで随分良くなりました。建物の修復によって町並みを次の世代に伝えていけると良いですね。

寛 歴史が感じられる有松の仕事現場に来るのが毎日楽しみでした。有松では「まちのため」に建物を大切にしている住民の方の姿が見られ、とても良いまちだなと感じました。いつまでも歴史が感じられるまちであってほしいと思います。



応接間の内装や床板も一新。明るく高級なイメージの部屋に生まれ変わりました。

【参考】耐震診断方法の比較

診断の種類	特徴	診断費用	助成制度
簡易診断	・簡易な診断方法(建物の変形は考慮しない) ・伝統工法の建物の場合、実際よりも厳しい評価が出る場合が多い	5~10万円	木造住宅 無料耐震診断 【耐震化支援室】
精密診断 (限界耐力計算)	・精密な診断方法(建物の変形についても考慮) ・伝統工法の建物の特性にあった診断方法 ・伝統工法をいかした補強計画づくりが可能	20万円~ 百万円程度	町並み保存 補助金 【歴まち室】

※町並み保存補助金について

町並み保存補助金は、精密診断や耐震補強工事に係る経費にも適用することができます。

対象	東海道沿いの町家 (伝統的建造物)
補助率	7割
上限	500万円

